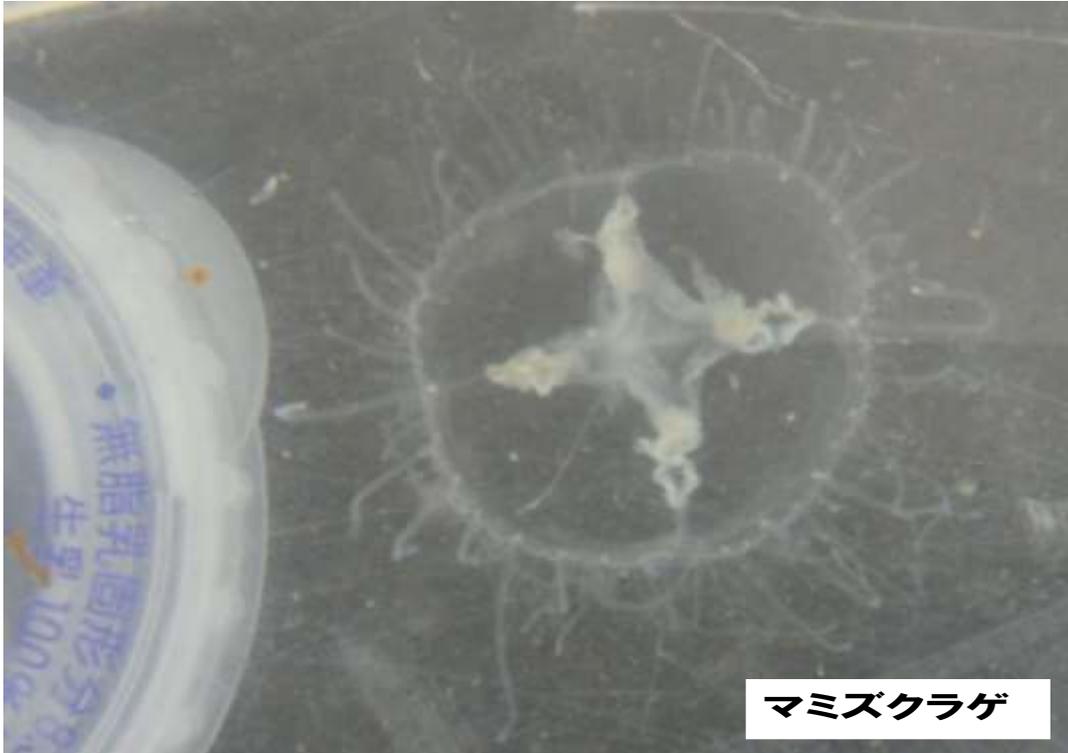


花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記③

国立市立国立第七小学校

平成27年10月21日 NO.57 (257)



マミズクラゲ

モンタ博士「わーい！わーい！ゲットしたぞ！」

花ちゃん「モンタ博士！どうしたのですか。」

オー君「ずいぶんと興奮しているようですね。」

モンタ博士「マミズクラゲをゲットしたんだ。神秘的というか幻想的というか。ともかく
プカプカと動く姿がおもしろく、かわいいのだ！いいだろう。すごいだろう。」

花ちゃん「マミズクラゲ？」

オー君「え！クラゲって、海にプカプカとうかんでいるやつですか。」

モンタ博士「そうだよ。海ではなく、ふつうの水にいるの『真水クラゲ』というんだよ。」

花ちゃん「どこで見つけたのですか。」

モンタ博士「一橋大学の池にいたんだよ。モンタ博士のお友達でね、フッタ博士という人
がいるんだけど、いろいろな生き物についてよく知っている人なのさ。まあ、
何というかモンタ博士の先生、つまりお師匠さんみたいな人なんだ。何でも
いろいろと教えてもらっているんだよ。」

オー君 「ふーん。モンタ博士の先生か。会ってみたいな。ところで、そのマミズクラゲは、今でもいるんですか。」

モンタ博士 「きのうね、やっと一匹つかまえることができたんだ。」

花ちゃん 「そのマミズクラゲという生き物は、いまどこにいますか。」

モンタ博士 「校長室の前の丸い水槽に入れてあるから見ることはできるよ。でもね、さわったりしてはいけないよ。みんなで仲良く観察しようね。」

オー君 「モンタ博士、ぼくも自分でつかまえたいな。一橋大学に行けば、ゲットできるんですか。」

モンタ博士 「それはどうかな。やっと一匹見つけることができたんだ。よく探せば、まだいるとは思いますがね。一橋大学の警備員さんのお話では、8月の中旬に大発生したそうなんだ。その時にはテレビ局も取材に来てね、ニュースでも放送されたそうなんだ。」

花ちゃん 「へえーそうなんですか。ちっとも知らなかったです。」

オー君 「ところで、モンタ博士。マミズクラゲの大きさというのはどのくらいなの。」

モンタ博士 「左の写真にもあるように、給食の牛乳キャップを半分くらい、だいたい1円玉くらいの大きさかな。」

花ちゃん 「とっても小さくてかわいいんですね。ところで、クラゲってどういう生き物なのですか。」

モンタ博士 「いい質問だね。生き物といってもいろいろな種類がいるんだけど、そのうちゆっくりとお話するけど、クラゲっていうのはね、無せきつい動物の仲間です。刺胞動物といわれるものなんだ。ほぼ全てが水の中で生活し、大部分が海にいます。刺胞とよばれる毒液を入れる針をもっているから、この名前になったんだ。イソギンチャクやサンゴなどもこの仲間なんだよ。」

オー君 「ふーん。何だかむずかしそうなお話になってきましたね。」

モンタ博士 「インターネットでもいろいろとくわしくのっているから、それを見るのもいいね。モンタ博士もわからないことばかりで、わくわくドキドキだ。よし！今からみんなで図書室に行って、調べてみることにしよう。」